

旗鉾伊太祁曾神社



<http://digitalarchiveproject.jp/information/旗鉾伊太祁曾神社>



- 有形文化財(建造物) 本殿 棟札
- 有形文化財(彫刻) 円空作 神像
- 有形文化財(古文書) 宮旗員覚帳
- 有形文化財(歴史資料) 神社奉納物一式
- 無形文化財 伊勢神楽
- 無形文化財 管粥神事

乗鞍岳の西に広がる地域の人々は、日の登る山、乗鞍を信仰してきたが、いつの頃からか伊太祁曾を祭神とするようになり、氏神としてまつようになった。

伊太祁曾のほかに日抱尊などの呼び方があり、大日如来をまつり乗鞍権現とも呼び、干ばつの時はたくさんの人が、みの笠をつけて、鐘や太鼓を鳴らしながら登山し、雨乞いをした。

文化 8 年(1811)には、伊勢の皇太神宮がこの神社へ飛んで来られたという噂が広まった。1 日に 2 千人もの参拝者があり、茶屋が建ち並び、この時、旗 250 本、額 19 枚、剣 20 本などが神社へ奉納された。

また、この神社では、毎年正月 14 日に「管粥占い」が境内で行なわれる。粥の材料は、米と小豆が主であるが、大豆や稗も少し入れる。この材料に加えて麻の茎をハス切りして 6 センチほどの長さのものを何本も準備する。そのほか小さな檜札を数枚準備する。これに五穀の品種名を書き、もう 1 つの檜板には 1 月から 12 月の月割り札を作る。旧暦の閏年は 13 枚とする。この 2 枚の檜札の墨書きしたものを合わせ、文字が見えないようにする。

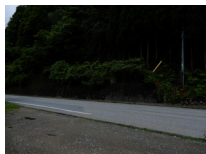
これに麻ガヲを 1 組として丈夫な細紐でからげる。占う種類が大鍋に入れられ、粥の材料と共に煮立てる。麻ガヲの穴の中に粥が多く入った品種のものが、その年の豊作となり、月割り札はその年の晴天や雨天の占いとなる。

この神事は荒神祭であるから占う間は女性の立ち入りは許されなかったが、現在は女性も参加している。占いが終わり、管粥帳に記帳がすむと、集まった人達はお粥や御神酒をいただく。

旗鉾伊太祁曾神社に、およそ 6 百年前から続く伝統の神事である。

平成 18 年 3 月 24 日 設置

高山市教育委員会 説明板より



001_①遠景その1001



002_①遠景その1002



003_①遠景その1003



004_①遠景その1004



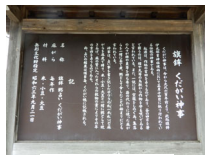
005_①遠景その1005



006_①遠景その1006



007_①遠景その1007



008_①遠景その1008



009_①遠景その1009



010_①遠景その1010



011_①遠景その1011



012_①遠景その1012



013_①遠景その1013



014_①遠景その1014



015_①遠景その1015



016_①遠景その1016



017_①遠景その1017



018_①遠景その1018



019_①遠景その1019



020_①遠景その1020



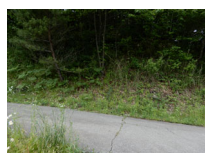
021_②遠景その2001



022_②遠景その2002



023_②遠景その2003



024_②遠景その2004



025_②遠景その2005



026_②遠景その2006



027_②遠景その2007



028_②遠景その2008



029_②遠景その2009



030_②遠景その2010



031_③説明板001



032_③説明板002



033_③説明板003



034_③説明板004



035_③説明板005



036_③説明板006



037_③説明板007



038_③説明板008



039_③説明板009



040_③説明板010



041_③説明板011



042_④鳥居の手前001



043_④鳥居の手前002



044_④鳥居の手前003



045_④鳥居の手前004



046_④鳥居の手前005



047_④鳥居の手前006



048_④鳥居の手前007



049_④鳥居の手前008



050_④鳥居の手前009



051_④鳥居の手前010



052_⑤鳥居の場所001



053_⑤鳥居の場所002



054_⑤鳥居の場所003



055_⑤鳥居の場所004



056_⑤鳥居の場所005



057_⑤鳥居の場所006



058_⑤鳥居の場所007



059_⑤鳥居の場所008



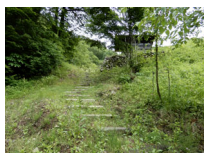
060_⑤鳥居の場所009



061_⑤鳥居の場所010



062_⑤鳥居の場所011



063_⑤鳥居の場所012



064_⑥境内001



065_⑥境内002



066_⑥境内003



067_⑥境内004



068_⑥境内005



069_⑥境内006



070_⑥境内007



071_⑥境内008



072_⑥境内009



073_⑥境内010



074_⑥境内011



075_⑥境内012



076_⑥境内013



077_⑥境内014



078_⑦境内・保存樹001



079_⑦境内・保存樹002



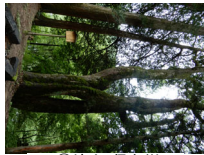
080_⑦境内・保存樹003



081_⑦境内・保存樹004



082_⑦境内・保存樹005



083_⑦境内・保存樹006



084_⑧境内から本殿へ001



085_⑧境内から本殿へ002



086_⑨天照社001



087_⑨天照社002



088_⑨天照社003



089_⑨天照社004



090_⑨天照社005



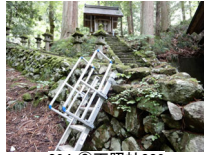
091_⑨天照社006



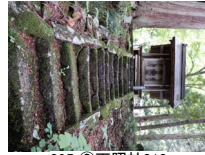
092_⑨天照社007



093_⑨天照社008



094_⑨天照社009



095_⑨天照社010



096_⑨天照社011



097_⑨天照社012



098_⑨天照社013



099_⑨天照社014



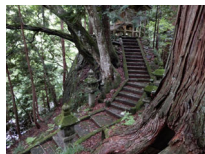
100_⑨天照社015



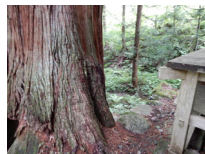
101_⑨天照社016



102_⑨天照社017



103_⑨天照社018



104_⑨天照社019



105_⑨天照社020



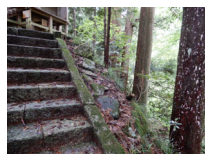
106_⑨天照社021



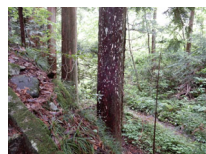
107_⑨天照社022



108_⑩伊太祁曽神社・本殿001



109_⑩伊太祁曽神社・本殿002



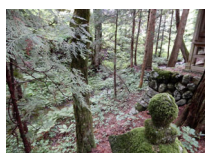
110_⑩伊太祁曽神社・本殿003



111_⑩伊太祁曽神社・本殿004



112_⑩伊太祁曽神社・本殿005



113_⑩伊太祁曽神社・本殿006



114_⑩伊太祁曽神社・本殿007



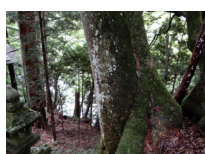
115_⑩伊太祁曽神社・本殿008



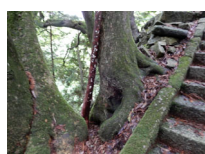
116_⑩伊太祁曽神社・本殿009



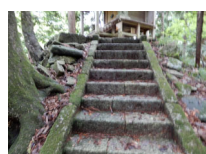
117_⑩伊太祁曽神社・本殿010



118_⑩伊太祁曽神社・本殿011



119_⑩伊太祁曽神社・本殿012



120_⑩伊太祁曽神社・本殿013



121_⑩伊太祁曽神社・本殿014



122_⑩伊太祁曽神社・本殿015



123_⑩伊太祁曽神社・本殿016



124_⑩伊太祁曽神社・本殿017



125_⑩伊太祁曽神社・本殿018



126_⑩伊太祁曽神社・本殿019



127_⑩伊太祁曽神社・本殿020



128_⑩伊太祁曽神社・本殿021



129_⑩伊太祁曽神社・本殿022



130_⑩伊太祁曽神社・本殿023



131_⑩伊太祁曽神社・本殿024



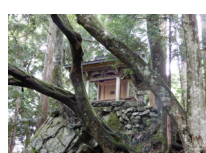
132_⑩伊太祁曽神社・本殿025



133_⑩伊太祁曽神社・本殿026



134_⑩伊太祁曽神社・本殿027



135_⑩伊太祁曽神社・本殿028



136_⑩伊太祁曽神社・本殿029



137_⑩伊太祁曽神社・本殿030



138_⑩伊太祁曽神社・本殿031



139_⑩伊太祁曽神社・本殿032



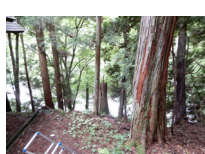
140_⑩伊太祁曽神社・本殿033



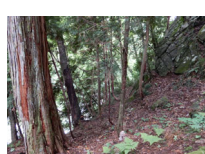
141_⑩伊太祁曽神社・本殿034



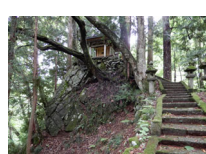
142_⑩伊太祁曽神社・本殿035



143_⑩伊太祁曽神社・本殿036



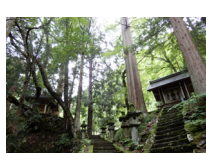
144_⑩伊太祁曽神社・本殿037



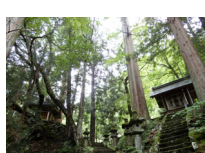
145_⑩伊太祁曽神社・本殿038



146_⑩伊太祁曽神社・本殿039



147_⑪両社・全景001



148_⑪両社・全景002



149_⑪両社・全景003



150_⑪両社・全景004



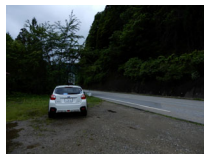
151_㊦両社・全景005



152_㊦両社・全景006



153_㊦両社・全景007



154_㊦両社・全景008